

自然と文化、人がかがやく平林

平林地域まちづくり新聞

Vol. 5
2013年
5月15日号

通常総会開催 25年度事業計画・予算が承認



平成 25 年度事業計画と収支予算

今年度の交付金額は 160 万 8 千円で、これに前年度の繰越金を含めた 176 万 1 千円が予算額となります。

主な事業と予算額は次のとおりです。

地域交流事業 35 万円

- ・昨年度実施した「平林名所ウォークラリーと芋煮合戦」の反省点を踏まえ改善し行ないます。

連携事業 2 万円

- ・小学校、PTAとの連携した事業を考えます。

研修事業 13 万円

- ・地域住民や女性を対象とした研修視察や、研修会を開催します。

基盤整備事業 5 万円

- ・子どもから大人まで、各種団体の代表の方が話し合える場をつくります。

集落活動支援事業 32 万円

- ・集落活性化を目的に、集落事業に対して支援を行ないます。

元気集落づくり応援事業 20 万円

- ・意欲的な集落の活動に対して助成を行ないます。

安全安心な暮らし対策事業 2 万円

- ・ささえあいの地域づくりを検討します。

環境整備事業 3 万円

- ・子どもたちが考案したアイデアの事業化を検討します。

平成 25 年 4 月 12 日（金）平林ふれあいセンターにおいて、平林地域まちづくり協議会通常総会が開催されました。各集落から選出された代議員 20 名と運営委員 13 名が出席し、来賓として平林地域出身の斎藤衆議院議員に出席いただきました。

総会では平成 24 年度の事業報告と決算、協議会規約一部改正（案）、平成 25 年度の事業計画（案）と予算（案）が審議され、いずれも原案どおり承認されました。

総会後の懇親会では、和やかな歓談の中にもこれからの平林地域のまちづくりについて熱心に話し合う姿が見られました。



通常総会での質疑応答

【問】昨年地域交流事業「ウォークラリーと芋煮合戦」は盛況に行なわれた。準備等の苦労も多かったと思う。集落でも事前準備が大変だったので、今後の事業計画にはこのことも考慮してほしい。

【答】昨年の反省も踏まえ、ご意見として伺います。

【問】元気集落づくり応援事業とはどのような事業ですか？

【答】集落活動支援事業のほかに、意欲的な取り組みをしている集落を応援していくための事業です。手上げ方式で希望する集落があればその中から採択する方式です。今後、運営委員会で採択基準等詳細を検討していきます。

地域の出来事



四月十五日(月)平林集落では、保呂羽大祭が行なわれました。今年は四月にしては肌寒い中、子どもたちが元気な掛け声で神輿を担いで練り歩きました。五月八日(水)小岩内集落では、薬師山の春祭りが行なわれました。薬師堂では各自持ち寄ったご馳走をお供えしました。薬師堂の中では、参拝する方々にお神酒が振舞われ、にぎやかな声があふれていました。



子どもたちの掛け声が響く！



(上) 保呂羽堂山門 (下) 薬師堂



お神酒とご馳走で笑顔



「荒川クリーン作戦」開催しました

4月13日(土)午前9時から荒川クリーン作戦が開催されました。これは「3年連続水質日本一」の記録を持ち、平成の名水百選にも選ばれた清流「荒川」を次世代にも引き継ごうと「清流」荒川を考える流域ワークショップが主体となり、毎年行なっている事業です。

当日は肌寒い風の中、子どもから大人まで大勢の人が参加し、たくさんのごみを拾いました。



【編集後記】

4月より平林地域まちづくり協議会の担当となりました。長年慣れ親しんだ地域ですが、まだまだ意外と知らない地域資源や行事がたくさんあることに気づかされました。「温故知新」を心がけ、まちづくりに取り組みたいと思いますのでよろしくお願い致します。

平林地域担当：木村

敬老会のご案内

- ◇神林地区敬老会が開催されます
- ・6月15日(土) 午前10時30分
- ・会場 神林総合体育館
- 大勢の皆様のご来場をお待ちしております。



地域の情報をおよせください。

- ご意見・ご感想・問い合わせは
- 神林支所地域振興課自治振興室
- 電話・告知端末 66-6122
- 自治振興室メール
- k.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp